

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 24 年 10 月 26 日(金)

第 22 号

発行人 校長 鈴木史良

後期生徒会が目指すもの

—— 地域、教職員、生徒で学校教育目標を共有 ——

10月22日(月)の6校時、生徒会主催による後期生徒総会が行われました。これまでの行事や委員会活動で生徒会活動の牽引役として頑張ってきた前期生徒会(3年・鈴木仁平会長)に替わり、後期生徒会(2年・奥山凧会長)のもと、後期生徒会の方針が提案され、全校生徒に承認されました。

今まで生徒会で行ってきた活動をさらに次の段階に発展させるため、以下の3点が提示されました。

- ・地域、世界に目を向けた活動を！
- ・Global Eye を生徒会でも導入！
- ・全校生徒が活発な活動を！

このような基本方針のもと、後期生徒会のスローガンが承認されました。生徒会役員選挙演説でも、すべての候補者が学校教育目標の『豊かな学びで世界に羽ばたく生徒』を口にし、その理念が教職員だけでなく生徒たちにも共有されるようになったのです。深良中学校の理想像を求めて地域や保護者、教職員、生徒が、立場は違いますが同じ方向性、ベクトルをもって学校にかかわっていくというすばらしい実践のスタートとなります。

後期生徒会によるキーワードは『NEXT』です。『NEXT』は後期生徒会によって次のように位置づけられました。

NEXT

Next Vitaling

～次への**活力**～

- ・深良中から地域、世界を良くしていく！
- 地域、世界のためにできることを
- ・大きな声であいさつ
- これからは人に伝わるあいさつを

Next World

～次への**世界**～

- ・生徒集会に「世界」をテーマにした活動を取り入れる。
- 例) Global Eye レクリエーション
- 世界に目を向けた活動を

※校歌四番に注目！

史繙けば遠き日に
深良の山に科学あり
眺むる山野緑濃く
伝わりきたるこの平和
祖先の偉業受け継ぎて
やがて背負わんわが町を
やがて背負わんこの国を



郷土の歴史をひも解いてみると、深良地区には伝統的に学問を尊重する土壌があった。眺望のすばらしい、緑に囲まれた自然あふれる環境の中で学びを醸成し、人々は安らかに暮らすことのできる平和をはぐくんできた。

今、わたしたちも郷土の先人たちの成し遂げたすぐれた業績（深良用水の完成など）を学び、学問に励み、人と人とのつながりを大切にしたい精神を受け継いで、やがては郷土を、日本を背負って立つような志をもつ生徒に成長してほしい。

校歌四番に謳われている内容は、まさに現在の深良中学校、生徒会が目指している姿と言えます。『豊かな学びで世界に羽ばたく生徒』を謳っています。そのような姿を常に願い、日々の活動に励んでいきます。

学校玄関ホールの名称決定

不要となった下足箱を撤去し、8月末に完成した玄関ホールの名称が決定しました。名称の決定を後期生徒会本部に一任したところ、全校生徒から募集した案の中から投票でいちばん人気のあった名称に決定しました。

名称は『ぐろーばるーむ』です。誰もがくつろげる場所であり、なおかつ日本や世界の情報が得られる空間というコンセプトにぴったりなネーミングだと思います。この名称の発案者は3年の錦織さん。深中生のセンスの高さを感じました。



『ぐろーばるーむ』によるこそ！

セルフマネジメントで“未知なる自分”の能力を伸ばそう！

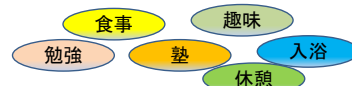
セルフマネジメント活動を始めて半年が過ぎました。この間、4月と9月にアンケートによる実態調査を行い、面談などを通じて担任からの指導があったと思います。

6月の全校集会でも取り上げましたが、家庭での時間を自分で管理し、必要な睡眠時間をとるだけで、翌日の授業での集中力が自然に増し、成績がよくなります。脳内の海馬の働きによって記憶力（新しいことを覚える力）がアップするからです。年明けの1月に3回目の調査を行う予定です。

睡眠時間を死守！



帰宅後、寝るまでの時間をどう有効に使うかが勝負。



セルフ・マネジメント